

JIS Q 9100:2009 への移行スケジュールについて

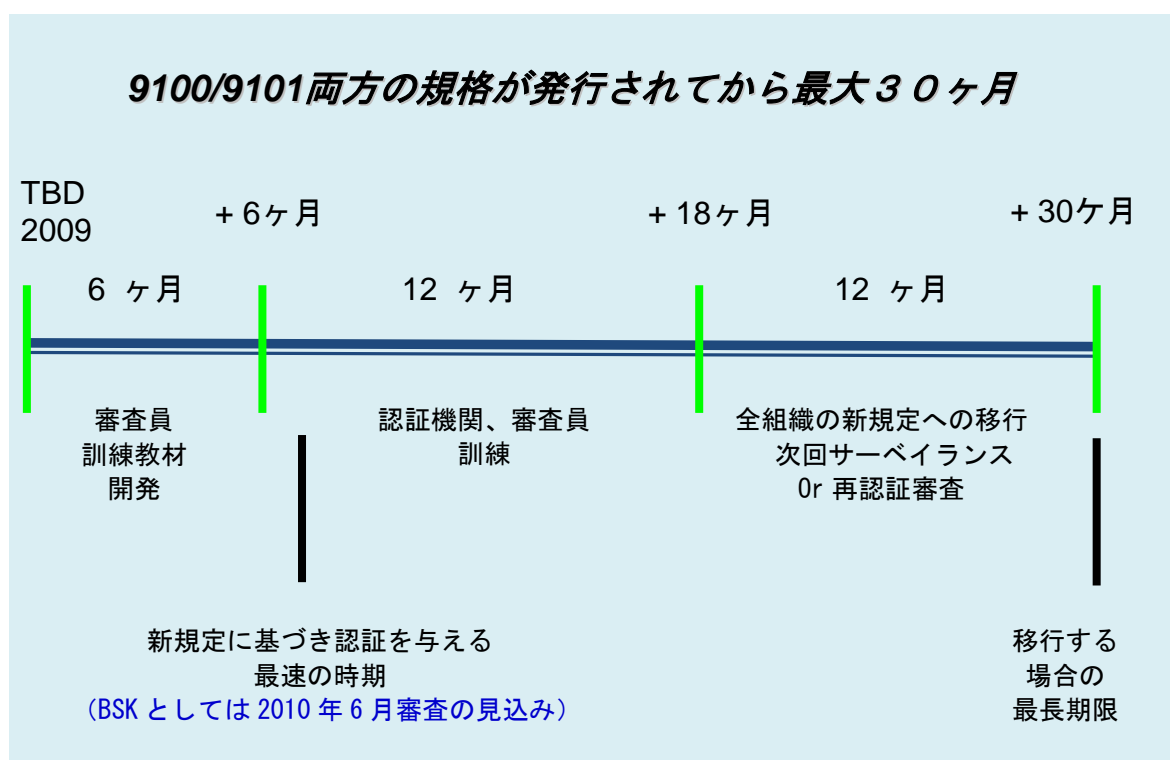
1. 概況

JIS Q 9100:2009 は、2009 年 4 月 20 日に発行されました。今回の改訂に併せて、IAQG (International Aerospace Quality Group) では、9101C (品質マネジメントシステムの評価) の見直しを進めており、認証機関による JIS Q 9100:2009 の審査にあたっては 9101D 版 (日本では SJAC9101D となる) を使用することが前提となっています。平成 21 年度 JAQG 活動説明会 (2009 年 7 月 15 日 (名古屋)、17 日 (東京)) によると、IAQG での 9101D の発行を 2009 年 9 月と見込んでいて (SJAC9101D は 2009 年 12 月頃に発行される予定)、その後、審査員の訓練教材が準備 (約 6 ヶ月) され、審査機関・審査員の訓練が行われます。**BSK としては迅速な審査員訓練を経て 2010 年 6 月には JIS Q 9100:2009 移行審査を開始できるよう準備予定**です (2008 年 12 月 8 日、11 日の BSK 説明会では目安として 2009 年 11 月に JIS Q 9100 移行審査開始としていましたが約半年の後ろ倒しとなります)。また、**移行審査の最終期限は 2012 年 3 月**となります。

2. 移行スケジュール

前述の JAQG 活動説明会の資料によると、JIS Q 9100:2009 移行のスケジュールは下図のようになります。TBD 2009 となっている部分は IAQG では 2009 年 9 月、JAQG (日本) では 2009 年 12 月の見込みです。但し、審査員訓練の開始は日本では 2010 年 4 月頃と予想され、諸手続きを経て、**2010 年 6 月から移行審査が可能になる見込み**です。

JIS Q 9001:2008 の移行期限 (2010 年 12 月 19 日) を考慮すると、JIS Q 9100:2009 と JIS Q 9001:2008 の同時審査が可能な時期は 2010 年 6 月から 2010 年 10 月の間に限られそうです。JIS Q 9100:2004、JIS Q 9001:2008 の組合せでの審査は既に可能ですので、**組織に置かれては、早い機会に JIS Q 9001:2008 への移行対応を進めることを推奨**いたします。



3. FAQ

3. 1 JISQ9100:2009 に関する全般的なFAQはどこを見れば分かりますか？

JAQGのホームページ「JAQG お知らせ」から「IAQG 9100:2008(JIS Q 9100:2009)のFAQ(090417 現在)」にある「公開 FAQ(PDF ファイル)」をご覧ください。

3. 2 BSK での JIS Q 9100:2009 移行審査の期間は？

JISQ9100:2009 移行審査は 2010 年 6 月開始 2012 年 3 月終了(移行期限の 2 カ月前まで移行審査可能と想定)となる見通しです。(別紙「JIS Q 9100:2009 改定に伴い、組織が実施すべき事項」参照)

参考: JIS Q 9001:2008 移行審査は 2009 年 4 月から 2010 年 10 月

3. 3 組織として JIS Q 9100:2009 の早期適用を実施したい。この場合、JIS Q 9100:2004 で審査されると緩和条項部分で指摘を受けるか？

組織で早々に JISQ9100:2009 を適用していた場合の通常の 2004 年度版での審査を実施する際の問題点と処置要領に関して、JAQG/IAQG への問い合わせを実施しており、近々 JAQG もしくは JAB 殿からの通知があると予想しています。正式通知があり次第、BSK ホームページ等にて紹介する予定です。

3. 4 JIS Q 9100:2009 移行に関して、組織への BSK の説明会はいつ開催されるか？

JISQ9100:2009 移行審査の期間は上記 3. 1 項にあるとおりですが、SJAC 9101D 発行予定が確認でき、審査員の訓練等に関する情報が確認でき次第、説明会を開催予定です。現状では 2009 年 12 月を見込んでいます。

3. 5 SJAC9101D の発行と、審査時に SJAC9101D が使用されることで何か組織の準備が必要か？

SJAC9101D は審査機関・組織を問わず審査と審査報告書作成に使用可能です。組織での使用は任意ですが、認証機関での使用は必須となります。組織において内部監査あるいは委託先監査に SJAC9101D を使用しない場合、組織が特に準備することはありません。但し、

- ① 認証機関の審査で、品質システムのパフォーマンスと有効性の監視に重点を置いたプロセスアプローチを使用して審査を実施することから、審査時には、あるプロセスの主たる対応部門と関連部門の出席に協力を頂くケースが増加すると思われます。
- ② プロセスの有効性の評価を行うにあたり、組織において計画した活動とその目標に対して、実際の活動が実施され、活動結果をデータで確認して必要な場合(目標に届かない場合)には適切な処置を実施することが求められます。以下の着実な実施が評価されます。
 - －Plan(方針に沿った目標及びプロセス設定)
 - －Do(プロセスの実行)
 - －Check(方針、目標及び製品要求事項に照らしてプロセス及び製品を監視及び測定し、結果を報告)
 - －Act(プロセスの成果を含む実施状況を継続的に改善するための処置をとる)

理由: 有効性の評価判定の基準になるため。

3. 6 SJAC9101D の発行で SJAC9101C の評価得点、品質マネジメントシステム質問書はなくなるのか？

SJAC9101C の評価得点、品質マネジメントシステム質問書はなくなります。

SJAC9101D では、プロセス有効性評価報告書、不適合報告書、プロセスベース審査完全性記録等が使用されます(詳細については SJAC9101D の発行をお待ちください)。

以上



JIS Q 9100:2009 改訂に伴い、組織が実施すべき事項

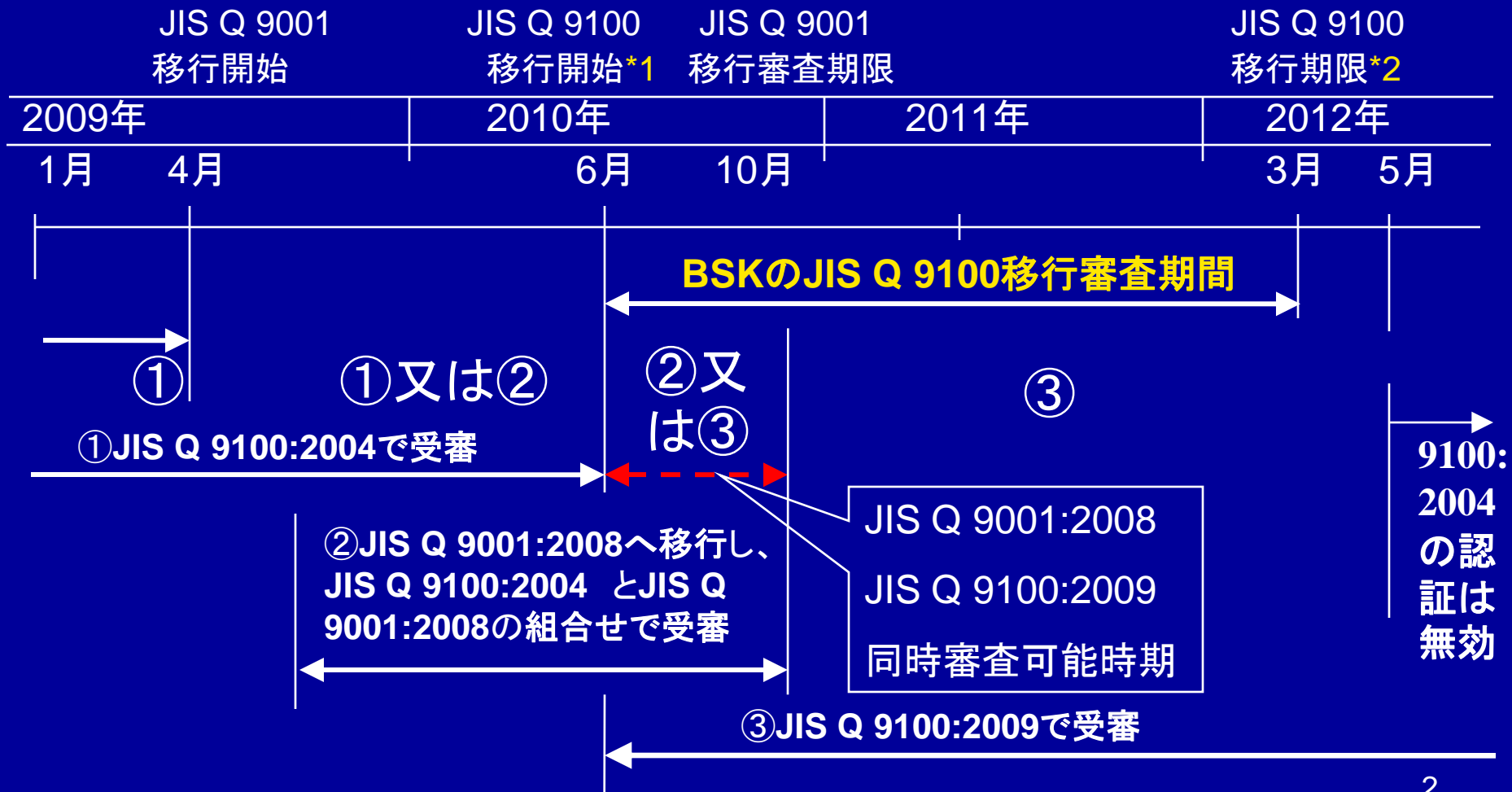
JIS Q 9100:2009改訂への対応 SJAC9101D発行(2009.12月見込み)から**30ヶ月**で移行が必須
(根拠: JAQG2009年7月15,17日説明会情報)



JIS Q 9100:2009 改訂に伴う認証の移行



JIS Q 9100認証の組織においては、移行において、JIS Q 9001:2008、JIS Q 9100:2009の発行、移行期限からすると、以下の認証状況が考えられる(*1:移行開始時期は目安。*2:JIS Q 9100の移行期限は見込み)。

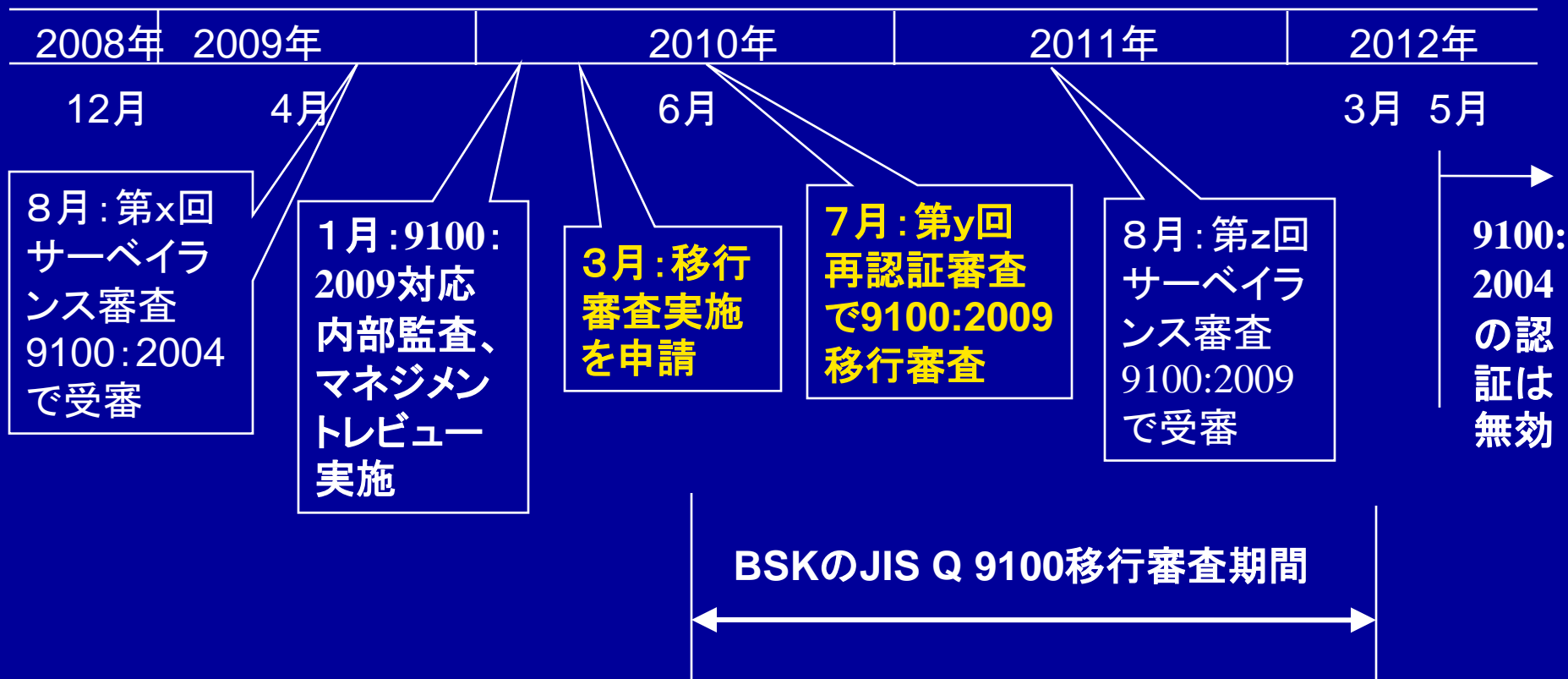




組織における移行のスケジュール例

ケース1: JIS Q 9100:2009対応 同時移行

条件: 現在の認証有効期限: 2010年9月25日 1年毎サーベイランス審査





組織における移行のスケジュール例

ケース2: JIS Q 9001:2008先行移行後 JIS Q 9100:2009移行対応
条件: 現在の認証有効期限: 2010年3月25日 1年毎サーベイランス審査

